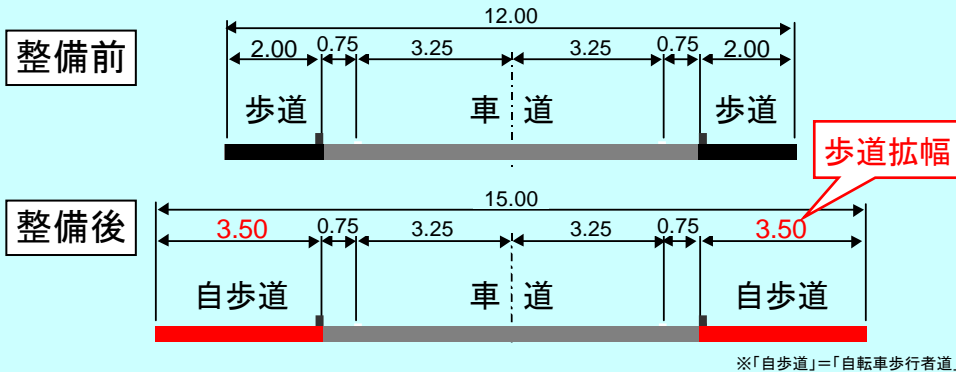


誰もが安心して快適な歩行空間の整備

- JR益田駅周辺は、市街地であり、歩行者・自転車の事故件数も多いため、島根県交通安全推進協議会において「あんしん歩行エリア」に指定。
- また、国道9号沿線には、小学校や病院が隣接しており、国道9号の歩道も狭く、自転車・歩行者が輻湊し、安全に通行できない状況。
- そのため、歩道拡幅と歩道のバリアフリー化を実施。
- その結果、自転車・歩行者の交通事故が半減し、7割以上の方が歩道の安全性・利便性の向上を実感。

●計画断面図（整備区間の標準的な断面）



●国道9号の歩道の様子

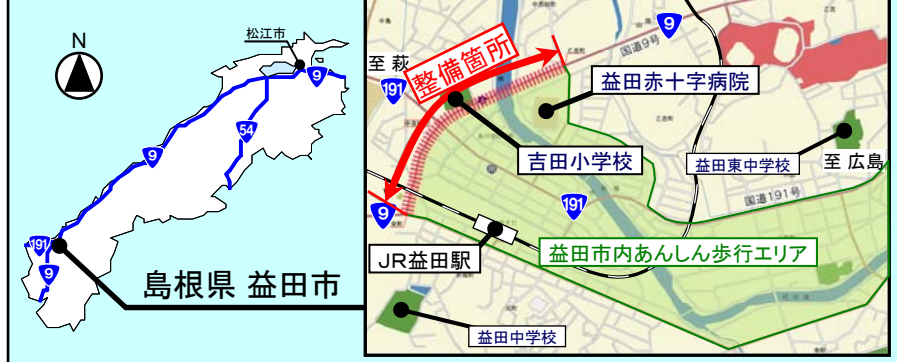


自転車は車道を通行
→交通量が多く**危険!**



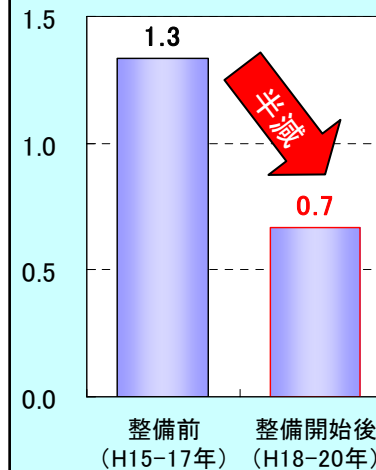
自転車歩行者道を整備
→自転車・歩行者が**安全**に通行

●位置図



●整備効果①

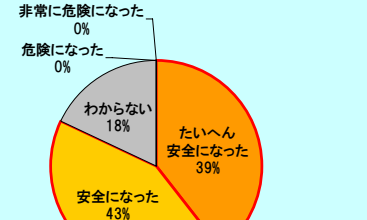
～歩行者の交通事故減少～
◇歩行者の交通事故件数(件/年)



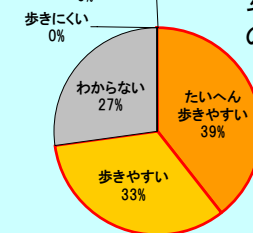
資料) 交通事故総合データベース

●整備効果②

～歩道の安全性・利便性の向上～
◇整備後のアンケート結果(H19年度)



7割以上の方が
安全性・利便性
の向上を実感



●整備後の利用者からの意見 (H19年度)

歩道が広くなったおかげで自転車に乗って通るときも、歩行者がいても、十分余裕をもって通れるようになったと思う。
40代 女性

歩道に段差があると歩くときや自転車に乗っているときに安全に通行できないことがあるので、整備されたことはとてもいいと思う。
70代 男性